

ドキュメンタリー映画

熊と蜂蜜とアキオさん

春よこい

森が教えてくれた、
森が死んでいくと、
地球温暖化。
原発事故。
消費社会。

監督：安孫子亘

私たちは気づいていない
欲にコントロールされていることに
本当は幸せになるために
この地球にやってきた。

熊を撃つことだけが目的ではない
ただ、自然の一部になること——

アニメーション 七五郎沢の狐

同時上映



函館東山に位置する七五郎沢で代々暮らしてきた狐たち。人間たちが医療廃棄物を沢に捨てるようになり、居場所を失ってしまった。

この物語はアイヌ神謡の手法を一部に取り入れ、アイヌ語で制作されました。廃棄物最終処分場の問題を、野性の狐の目線で描いた短編アニメーション。

熊を追う。 ——なぜ？それは山が知っている。



舞台は福島県金山町。
2011年3月。東日本大震災・福島第一原発事故による放射能は、130km離れた金山町の自然にも降り注いだ。野生動物をはじめ、町の観光資源であるヒメマスまでもが汚染された。

ここに暮らすマタギ猪俣昭夫は、生き物の猟をしながら汚染された山、川、湖と向き合い、元の金山町の自然を取り戻すべく献身的な日々を送っている。

マタギの生業は熊を撃つことだけではない。山の神を敬い、おきてに従い熊を撃つ。そして、人と自然が共に暮らす術をマタギは教えてくれる。これからのマタギは何をすべきか。若者を自然界へ誘う新しいマタギの世界をこの奥会津に見た。

原発事故以来、世界中が自然との共生へと歩み始めた。自然とは何か。猪俣昭夫は、黙々と自然の大切さを説いた。やがて全てが戻る日を願い、金山の急峻な山を見上げた。

福島県 奥会津のマタギ 猪俣昭夫、 金山の自然と共に生きる感動の物語。



監督・撮影・編集 : 安孫子亘
出演 : 猪俣昭夫 福島県金山町の皆さん
音楽 : 東出五国
編曲 : 野崎洋一・秦野萌
音楽監修 : 秦野萌
ナレーション : 山本紀彦
録音・MAスタジオ : アフタービート
編集スタジオ : 会津ジイゴ坂学舎
字幕翻訳 : シング麻美
題字 : 千葉清藍
ポスターデザイン : 瀬川晶 福島大学芸術による地域創造研究所
プロデューサー : ナオミ
企画・製作・配給 : 株式会社ミルインターナショナル

2015年 / 日本語 / HD / カラー / 65分
特別協賛 : 福島県金山町

安孫子亘(映画監督) 1959 北海道小樽市出身
2011.3.11震災以降、福島県下郷町に製作拠点を置く。震災の爪あとを記録するのではなく、再生に向け歩む、美しい福島姿を描く。「檜枝岐歌舞伎やるべえや」、「生きてこそ」(ドキュメンタリー映画)

お問合せ: 春よこい製作委員会
TEL : 090-3098-7077
E-mail : miru36@ag.wakwak.com
公式サイト: <https://www.mirufilm.com/>

© 2015 春よこい製作委員会

2023年4月15日(土)・16日(日) 南会津 鹿フェスティバル

【映画上映】ドキュメンタリー映画 春よこい × アニメーション 七五郎沢の狐

【トークイベント】監督 安孫子亘 × アニメーション原作者 結城幸司

■15日 開場 13:30 / 開演 14:00 ■16日 開場 10:00 / 開演 10:30

会場: 会津田島祇園会館 (南会津町田島字大坪 30-1)

主催 / お問合せ: おぜしかプロジェクト 080-5604-3985 協賛 / 協力: ミルフィルム

前売券 1,000円
当日券 1,200円
中学生以下無料
自由席